

現況分析における顕著な変化についての説明書(教育/研究)

法人名	国立大学法人神戸大学	学部・研究科等名	工学研究科
-----	------------	----------	-------

1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

分析項目Ⅱ 教育内容

2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

○顕著な変化のあった観点名: 学生や社会からの要請への対応

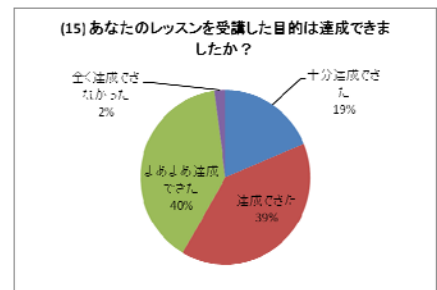
本研究科では、学生の多様なニーズ、社会からの要請に対応した教育を実践するために、平成 20 年度より新たに以下の取り組みを実施している。

英語アフタースクール: 本研究科では、本学理学研究科及び農学研究科とともに、学生の英語力向上のために、本研究科キャンパスを利用した英語教育（英語アフタースクール）を発足させた。

大学院生は、修了後の進路や、高度な専門教育、国際会議での研究成果発表のために、より高度な目的に応じた英語力の習得を目指している。英語アフタースクールは、学部3、4年次及び大学院生を対象に、放課後に大学のキャンパスで外部の英語学校の講師を招いて開設されたプログラムで、学生に英語のスキルアップを図る機会を提供するものである。

英語アフタースクールによって、学生は、市中の英語学校に通うことなく自学のキャンパスで学習でき、かつキャンパス内の校舎を使用することによって比較的安価に学習できる、という2つの大きなメリットを享受できる。また、そのコースは、英会話コース、TOEIC・TOEFL コース、プレゼン技能コース等、目的に応じたクラス選択が可能になっており、学生の需要に応えるとともに、修了後の企業や研究機関で必要とされるより実践的な英語能力を養成するものである。

これまでの参加者数は資料1に示すとおりで、順調に参加者が集まっている。また資料2に受講者の TOEIC 模試スコアを示すが、いずれも受講の前で成績を伸ばしており、特に 200 ポイント以上向上した学生もいる。また学生の満足度を知るためにアンケート調査を行っているが、右図のように「目的を達成できた」する学生が大半であることから、確実に効果が得られていることがわかる。



また本研究科では、大学院後期課程の学生に海外留学をさせる「工学研究科プレミアムコース」を創生した。海外での研究活動を目指す学生の英語研鑽の場として、英語アフタースクールが活用され、相互に成果を発揮することを期待している。

資料1 大学院工学研究科在籍の参加人数

開講時期	平成 20 年度夏期	平成 20 年度後期	平成 21 年度前期	平成 21 年度後期
*参加人数	13 名	15 名	18 名	14 名

資料2 TOEIC 模試スコア

参加学生	クラス	(平成 20 年 8 月 プレースメントテスト)		(平成 20 年 10 月 プログラム終了時)		
		リスニング	リーディング	リスニング	リーディング	
A	中級	350	215	410	260	+105
B	中級	275	235	325	405	+220
C	中級	315	260	315	335	+75